

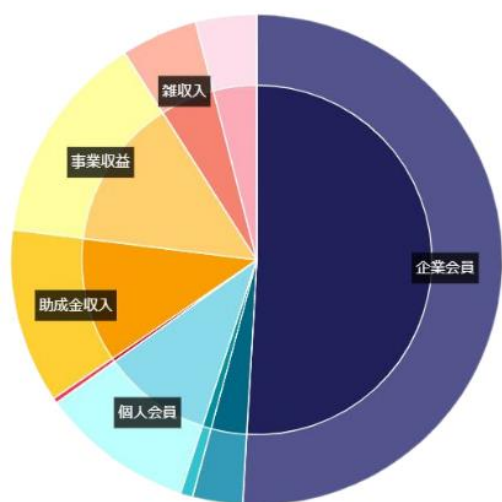
サステナビリティ日本フォーラム 2024 年度事業報告

(2024 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日)

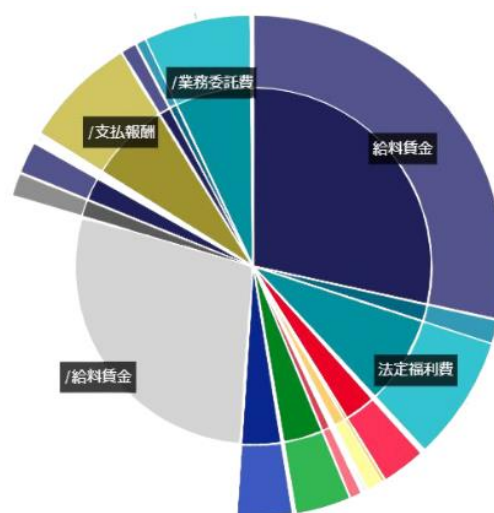
「サステナビリティに資する情報開示がその取り組みを推進すると考え、持続可能な社会構築に向け、活動を行う」ことを目的とする Sus-FJ は、2002 年の創設以来、GRI スタンドールの普及を皮切りにマルチステークホルダーとともにサステナビリティに資する多様な事業を行っています。2024 年度の会計年度の事業報告を下記の通りお伝えします。

- 会員動向・財務状況
- 事業概要と今年度の事業
- Sus-FJ における主な環境負荷への取り組み
- 会計

会員動向・財務状況



2024 年度収入： 6,086,625 円



2024 年度支出： 6,052,767 円

会員数は 131 名（2024 年 12 月 31 日現在）。19 名の役員（別添_役員一覧）、22 名の評議員および 11 名運営委員と専従職員は 2 名。2024 年度の入退会状況は、企業会員は 3 社入、1 社退（+2）

事業概要

◎:会員拡大含め一般向けにも開催 ○:会員向けに開催

事業部門		管理部門
企業の CSR 活動を啓発・促進する事業	○研究会 ◎サステナリティ基礎講座 ○サステナリティ座談会 ◎サステナリティ中級講座	○役員懇談会 ○会員メールマガジン ・会員専用ページ運営 ◎メールマガジン/ウェブサイト
サステナリティ社会構築に向けた調査・研究・支援事業	◎オンライン SDGs ツアー Z 世代とサステナビリティ社会を描く	
サステナリティ・レポートの国際標準をめざす GRI スタンドールの普及・啓発事業		
サステナリティ・レポートに関する研究を推進し、国内外へ提言・提案を行なう事業	◎TCFD 各種ガイダンス ◎TCFD コンパスマンガ	

今年度の事業案 青字は 2024 年度新規取組み
CSRD/ESRS 欧州サステナビリティ報告基準研究会

開催	講師等	研究内容	2024 年 (←23←22←21←20←19 年) 人数・社数
パート 1 6/5,7/9,8/6,9/13	後藤 敏彦, 齊藤 良美, 大崎 麻子, 川崎 武史	CSRD, ESRS と各トピッ ク基準, 監査について	38・11 社 (←26・19 社←24・11 社←30・16 社←23・12 社←35・14 社)
パート 2 各分科会 2〜3 回課外 MTG。12/6 に全 体共有		ESG に則る 3 つの分科会	

- ・TCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース) の 2 文書 (TCFD コンソーシアム共訳) と 3 文書の私
訳版ならびに TCFD コンパスマンガ (日本語、中国語、英語) の普及、EU 企業のサステナビリ
ティ報告に関する規則 CSRD の翻訳 4 (←1←8←1←1←2) 冊数
- ・外部講演・進行 1 (←0←2←1←0←3) 回数
- ・サステナビリティ関連講座

開催	タイトル	講師	2024 年 (←23←22←21←20←19) 参 加者 (非会員)
3/26,8/27	サステナビリティ座談会 第 2,3 期 後藤 塾 情報開示の背景とこれから〜企業の プロアクティブな取り組み〜	後藤 敏彦	27 (0) (←21←N/A←7←6←8)
2/6&13,3/5&13,4 /9&16,6/11&18,7 /9&16,11/12&19	サステナビリティ基礎講座 (前半・後 半の 2 日制) 全 6 回	金澤 厚	59 (5) (←65←46←51←32←47)

- ・企業版ふるさと納税勉強会 **11 (4)**
- ・SDGs ツアー
23 (← 6 ←32←38←33←10) 参加者数 兵庫県豊岡市と番外編で日本ハム株式会社下館工
房と株式会社石坂産業訪問
- ・生物多様性調査 **15** (うち子どもの参加が 5 名)
- ・Z 世代とサステナビリティ社会を描く
129 (←80←69←145←18← N/A) 参加者数/履修数
- ・引き続き環境監査研究会、NSC (サステナビリティ・コミュニケーション・ネットワーク) 等、関連団体との
体系的な協力を図る
- ・ウェブサイト (フェイスブックページ含)、会員専用ページの運営
- ・メールマガジンの配信
19・44% (←23・39%←22・38%←22・30%←26・N/A←19・N/A) 発行数・開封率
- ・役員懇談会 **38** (←54←55←56←59←52) 参加者数
- ・次期代表理事の検討
- ・2025 年に年会費を下記の通りに改訂することを理事会で決議

正会員		賛助会員	
CSO (NGO) 会員 ／個人会員 ※	10,000 円→12,000 円	個人会員	10,000 円→12,000 円
中間組織会員 ※2	50,000 円→60,000 円	団体会員	100,000 円→120,000 円
企業会員	100,000 円→120,000 円	※1 本会の目的に賛同して入会いただける個人または NGO ※2 本会の目的に賛同して入会いただける労働組合、シン クタンク等中立的組織	

- ・総会、理事・評議員会

開催日	総会、理事・評議員会	2024 年 (←23←22←21←20←19) 委任状 含む出席
2/26	総会決議事項 2023 年度事業報告および決算 理事会決議事項 2024 年度事業計画（案）および予算 評議員会決議事項 理事の選任	総会 47 (←66←46←64 ←54←44) 理事会 14 (←17←14←15←15←12) 評議員会 17 (←23← N/A ←20←18←13)
8/6	理事会決議事項 代表理事、評議員の選任、会費およ び会務の執行に関わる事項 評議員会決議事項 理事の選任	理事会 15 評議員会 14

Sus-FJ における主な環境負荷への取り組み

Sus-FJ における主な環境負荷は、基本を在宅勤務としていることから（１）研究会・授業などのための各地への移動、（２）印刷物などコピー用紙の使用と使用後紙の処理、（３）パソコン利用のための電力消費の３点です。

今後はコピー用紙を低白色度の再生紙や FSC 認証製品を利用していくとともにカーボンオフセットの実現可能性についても検討していきます。

【移動】

60.0 (←130.5←244.2←143.7←114.9←228.9) (CO2 kg)

【印刷・コピー用紙購入】

2.3 (←5.2←9.7←1.3←0.8←2.3) (kg)

【電力消費】

0.007 (←0.018←0.031←0.015←0.001←0.03) (CO2 kg)

内 24 年度は 55 (←12) %が再エネ。賛同 [賛同団体一覧 | 自然エネルギー100%プラットフォーム](#)

【給料賃金は例年と同水準、2023 年度就業規則の変更により賞与を支給】

職員（正職員と短時間正職員の総称）の給料賃金は、担当業務に基づき決定しています。

24 年度	阪野	櫻田
基本業務（時間あたり、円）	1,438	1,438
マネジメント（同）	883	62
時給 計	2,321	1,500
月間時間数	74	40